

授業科目名	SDGsを考える	単位数	2単位
担当教員名	三村 悟	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	政府機関職員、国際機関職員としての国内外での実務経験をもとに、SDGsの制定過程や達成に向けた具体的な取り組みについて臨場感を持って教授する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】 今日の社会では、新型コロナウイルスのような感染症や、紛争や難民の問題、資源や食料の価格高騰、気候変動など、経済や社会、個人の生活に大きな影響を及ぼす様々な課題が瞬時に世界中に拡大する。このような「地球規模課題」に対応し、経済、社会、環境を統合的に持続可能とするために 2015年の国連総会で合意された「持続可能な開発目標(SDGs)」について講義する。			
【到達目標】 本科目では SDGsの成り立ちや特徴、日本および世界における課題と目標達成に向けた具体的な取り組みを学ぶことで、国際社会について理解を深め、持続可能な社会に配慮した行動ができるようになることを目標とする。			
授業の概要			
テキストをもとに、地球規模課題に対応する国際枠組である SDGsの成り立ちや特徴、17の目標に関する世界と日本の現状と、SDGs達成に向けた様々な主体による具体的な取り組みについて学ぶ。			
授業計画			
【SDGsの成り立ちおよび他の国際枠組とは異なる特徴を理解する】 1. SDGsの概要 2. 国連と持続可能な開発 3. SDGs策定までの過程			
【SDGsの17の目標を理解する】 4. ベーシック・ヒューマン・ニーズに関する目標:貧困、飢餓、健康 5. ベーシック・ヒューマン・ニーズに関する目標:教育、ジェンダー平等、安全な水 6. 社会経済に関する目標:エネルギー、働きがい・経済成長、産業基盤 7. 社会経済に関する目標:不平等の撲滅、住み続けられる街 8. 環境に関する目標:持続可能な消費と生産、気候変動、海洋、陸域 9. SDGsを達成するために必要な手段に関する目標:平和、パートナーシップ			
【SDGs達成に向けた具体的な取り組みを理解する】 10. 企業の取り組み:社会的責任と SDGs 11. 企業の取り組み:事業活動と SDGs 12. 自治体の取り組み 13. 様々な主体による取り組み:国連機関、日本政府 14. 様々な主体による取り組み:学校、若者、他国での取り組み 15. SDGs達成に向けたこれからの取り組み			
スクーリングでの学修			
テキスト			
蟹江憲史(2020)『SDGs(持続可能な開発目標)』中央公論新社(中公新書2604) 978-4121026040			
参考書・参考資料等			
国際連合広報センター『2030アジェンダ』 https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			